

工具を安全にご使用頂くために

工具を安全にご使用頂くために、本カタログでは使用上の注意事項を掲載しております。ご使用前によくお読み頂き、安全に作業して下さい。万一反する行為でのご使用は、けがや事故などのトラブルの原因になります。



注意 本カタログに掲載している工具全般に共通する注意事項

- ・工具は本来の目的、用途以外には使用しないで下さい。
- ・割れ、欠け、磨耗、変形などの異状が認められた場合には使用しないで下さい。
- ・無理な姿勢で作業しないで下さい。常に足元をしっかりさせバランスを保つようにして下さい。
- ・改造しないでください。加熱、加工などを行った場合は著しく品質の低下を招きます。
- ・ご使用時には保護メガネなどの保護具を着用して下さい。

電動用切削工具の部

- ・作業時の服装には十分注意し、作業服の袖やネクタイ、ズボンのすそなど巻き付きやすいものは着用しないで下さい。
- ・回転中のカッター部に手を触れないようにして下さい。また回転中には切り粉を取り除かないで下さい。
- ・穴あけ対象物に対してまっすぐに穴あけ作業して下さい。
- ・使用直後のカッター部や被削材は熱を持っていますのでやけどしないようにご注意下さい。
- ・電動機の取扱は電動機の取扱説明書の指示通りにして下さい。
- ・刃物は穴あけ対象物または被切削物に適したものであることを確認して下さい。

レンチの部

- ・ボルトやナットのサイズに合ったものを使用して下さい。
- ・足で体重を掛けないで下さい。パイプ等を差し込んで使用しないで下さい。ハンマー等で叩いて使用しないで下さい。
- ・通電状態での使用はしないで下さい。

トルクレンチの部

- ・トルク精度を維持するために定期的（年1回）に校正、調整することをお奨めします。（有償）詳しくはお買い上げ頂きました販売店にお問い合わせ下さい。
- ・最大目盛り以上のトルクで使用しないで下さい。
- ・ボルト、ナット等を手動で締めることのみを目的として設計されていますので、その他の目的で使用することは絶対避けて下さい。
- ・必要以上に荷重を加えると欠陥のあるボルトやナットは突然壊れることがあります。差し込み不足や、損傷、磨耗があったり、また荷重が大きすぎる場合はラチェットがスリップしたり壊れる原因となります。突発的な事故を防ぐため、常に足場及びバランスを確認して下さい。足場の悪い所や作動中の機械類のまわりでの使用は絶対避けて下さい。
- ・プレセット型トルクレンチは、クリック音を超えて使用すると設定値以上のトルクがかかります。過荷重によって生じる突発的な事故を防ぐために、いろいろなトルク値でお試しの上クリック音の感覚を養って下さい。
- ・使用にあたってはグリップ部にだけ荷重をかけるようにしてください。金属パイプ等を継ぎ足してトルクを増すような事は絶対にしないで下さい。
- ・トルクレンチは精密測定工具です。取扱には十分気をつけて下さい。

デジタルトルクレンチの部

- ・トルク精度を維持するために定期的（年1回）に校正、調整することをお奨めします。（有償）詳しくはお買い上げ頂きました販売店にお問い合わせ下さい。
- ・過剰なトルクは故障と正確な測定ができなくなる原因となります。特に延長パイプなどを使用しての過剰トルクを掛けないで下さい。
- ・レンチに問題が発生した場合には、ご自身で分解、改造は絶対にしないで下さい。
- ・高温多湿、直接日光のあたる場所に絶対に放置しないで下さい。特に雨のあたる場所等の水濡れする環境での使用と放置は避けて下さい。
- ・レンチ洗浄のためにアルコール、ペイントシンナーなどの有機溶剤の使用はしないで下さい。
- ・磁力の強い場所での使用はしないで下さい。また磁石の近くに保管しないで下さい。
- ・液晶表示部分に過度の力を掛けないで下さい。

絶縁工具の部

- ・絶縁工具類に使用している特殊樹脂は常に呼吸しています。絶縁被覆に損傷が無い場合でも経年劣化により絶縁性能が低下していく恐れがあります。皆様の安全を考えて、定期的な検査をお奨めします。詳しくはお買い上げ頂きました販売店にお問い合わせ下さい。
- ・本製品を使用する作業前には、自動車製造メーカー等からの作業指示書（サービスマニュアル）などを十分に理解して作業を行うようにして下さい。感電防止措置が不十分な場合には、感電により傷害や死亡につながる恐れがあります。
- ・高電圧下での作業には、法令により資格が必要になる場合があります。よく作業環境を確認し、その条件を把握した上で作業を行なって下さい。
- ・ご使用の際には絶縁工具のみで作業は行わず、必ず絶縁保護具を装着して作業を行って下さい。
- ・本製品の使用は、DC1500V、AC1000Vを超える回路では使用しないで下さい。電圧がDC1500V、AC1000Vを超える所で使用すると感電により傷害や死亡につながる恐れがあります。
- ・作業中は絶縁工具の絶縁部分（赤色・黒色）のみで扱い、金属の露出した部分には触れないで下さい。
- ・本製品で絶縁被覆や本体に破損などが見られる場合には、直ちに使用を中止して下さい。
- ・本製品に水、油などが付着した状態で作業を行わないで下さい。ショートの原因になるだけでなく、通電により感電する恐れがあります。
- ・本製品の分解、改造などは絶対にしないで下さい。絶縁効果が損なわれ、感電する恐れがあります。
- ・本製品を使用する時、接続部が外れないように確実にロックされているか確認して下さい。
- ・本製品を他の工具との組み合わせで使用しないで下さい。